

2月 ぼら組だより

令和6年2月15日(木) 真野第1保育園
ぼら組担任 高橋(記)、田屋

2月生まのおともだち

☆インタビュー：おおきくなったら何になりたいですか？

～お米とぼら組さんの1年間～

ドロドロする～



6月



7月



土づくりに苗植え、夏の間の水の管理を頑張り、収穫したお米。

10月



8月



すり鉢の中にお米を発見！！

すりこぎ棒やゴルフボールでこすると、もみ殻の中に白くてきれいなお米を発見！なんだか楽しくて、みんな夢中でゴリゴリ…「ここにあった！」「いっぱい出てきてる！！」と見つけて嬉しそうです！



あった！！

収穫した稲から、お米を取り外します。



いっぱいにとって疲れた～

ぼろぼろって取れるよ！



2つもあった！！



お米がたまってくると、嬉しそうな子どもたち。触ってみるとさらさらとした手触りが気持ちいいことに気がきました。しかも、なんだかいいにおいもします！

お米を触ると気持ちいい～



いいにおいがするよ！
甘いにおいがする～

小さなお米の粒を稲から一つ一つ外す作業を集中して行っています。下を向いての作業に首や肩が痛くなってくる様子で、「うう～」と伸びをしながら頑張っていました。

取り外した、お米をすり鉢に入れゴリゴリともみ殻を削っていきます！



ゴリゴリゴリ……



あ！
白いお米がある！！



でてきたお米の中には、緑色だったり、黒かったりするものもどうしてだろう？？

お米の先生、高杉先生に聞きに行ってみました。「黒いところがあるお米は虫が食べちゃったのよ」と教えてもらいました。

虫……
カメムシだ！！



お米作りを通して、お世話する大変さや、収穫する喜びを知った子どもたち。収穫した後も美味しいお米を食べるまでにたくさんの過程があり、いろいろな人がかかわっていることを知りました。お米だけでなく、そのほか食材にもたくさんの人の思いがあることを知った子どもたちにはこれからも食べ物を大切に、感謝の気持ちを持って食事して欲しいと思います！！